

12月23日(土)～1月16日(火)の25日間 3学期始業式 令和6年1月17日(水)
 年末年始(12/29～1/3)は学校閉庁日となります。3年生：1月15日(月) 登校日 定期テスト4

新しい年を迎えるための冬休みとなりました。大部分がご家庭での生活になるこの時期に、平素にも増してお子さんの生活に目を向けていただき、自主性を尊重しつつ、正しい判断力と行動力を身につけ、心身共に健やかで充実した冬休みが送れますよう、ご家庭でも十分なお配慮とご指導をお願いいたします。

学校では生徒一人一人に『長期休業中の生活設計』を立てさせています。特にこの期間は、各ご家庭大変お忙しいことと思います。子どもたちに大いに役割を与えていただくことを望んでいます。

また、正月にはお年玉などの多額の収入があります。無駄使いにならないよう、その使い方には十分注意をはらい、望ましい金銭感覚を養わせて下さい。

さらに、携帯電話やインターネットの使用について、家族でのルールを確認し、お子さんの使用状況を把握して下さい。冬休みは何かと時間があり、使用時間が多くなることが予想されます。生活を便利にしている反面、子どもが有害な情報にアクセスしたり、犯罪やトラブルに巻き込まれる問題を引き起こしている事例が多発していますので、携帯電話やインターネットのもたらす弊害から子どもたちを守って下さい。

年末年始で、外出する機会が多くなることと思いますが、健康面に十分気をつけ、お子さんにとって充実した冬休みになるよう心より願っております。

(1) 違法行為および違法につながる行動をさせない。

(飲酒、喫煙(電子タバコ含む)、万引き、窃盗、ツナギなど薬物乱用、バイクや自動車の運転、金銭の強要、暴力行為、密漁など)

(2) 夜間の外出や友人宅への外泊をさせない。

(3) パチンコ店、中学生同士での大型遊戯施設、ゲームセンター、カラオケボックス、ホーリング場への出入りは禁止です。

(4) 函館市民スケート場を利用する場合には、ルール(身分証明書持参・入場料金の支払い・マナーなど)を守り、他校の生徒との関係にも注意しましょう。中学校の身分証明書を持参しないと利用できない場合があります。

※利用時間は16時30分まで(函館市内の中学生のきまりに準ずる)です。

(5) 帰宅時間は、生徒同士の場合は午後6時までです。

(6) 外出時は『行き先・誰と一緒にか・帰宅時間』を必ず告げさせ、中学生らしい服装・態度を心がけさせてください。

(7) お年玉やお小遣いの管理をご家庭でもご指導ください。無駄遣い、貸し借り、高額のお金の持ち歩きなどさせず、望ましい金銭感覚をもたせてください。

(8) スマートフォンやインターネットは、使用時間を決め、節度ある使い方を守るよう家庭でのルールを決めてください。また、LINE・X(twitter)等のSNSを利用した無責任な書き込み、他人を誹謗中傷しないなどのマナーをしっかり守らせ、大きなトラブルや事故に巻き込まれないように注意しましょう。さらに、何かあった場合はすぐに保護者に相談するようにさせてください。

(9) スマートフォンやゲームでの、アカウント交換や課金のトラブルが管内で多発しています。大人の予想を超越した課金、アカウント・アイテム交換を行う上で電子マネー使用などの金銭に関するトラブルに十分注視させてください。



(10)冬休みは、クリスマスやお正月といった大きなイベントがあります。行ってはいけない場所、やってはいけない行為等に留意し、中学生としての自覚をもった行動をさせてください。
※校則は長期休業中であっても守らなければいけないものです。特に身だしなみの崩れ（染髪・眉毛を剃る・大切な体に傷をつける等）に注意を払ってください。髪や眉毛などを加工した場合には直してもらうことになります。上磯中学校の生徒である自覚をもって有意義な冬休みを過ごさせてください。

◎その他

- (1)事故や問題が起きたら、必ず学校に連絡して下さい。
- (2)年末年始(12/29～1/3)学校は閉鎖となります。
- (3)部活動以外で用事がある場合は職員室にいる先生に断り、用事が終わった後も報告して帰ることを確認してください。その際の服装は制服もしくは学校指定ジャージです。
- (4)不審者対策として「単独行動は避ける」「明るく大きな道を通る」など、日頃から自己防衛の心がけをもちましょう。

もしも被害にあった場合は

- ①助けを求める（大声を出す・民家に飛び込むなど）
- ②できれば人相・服装・車のナンバーなどの特徴を覚えておく
- ③すぐに警察 **110番** に届け、その後に学校に連絡する



以上3点を、ご家庭でもご指導ください。

終業式後の学活で生徒向けの“冬休み生活心得”を配付いたします。学校のルールや社会のマナーなどについて話し合う時間を家族でもおもちになり、無用なトラブルを未然に防ぎ、快適に過ごすために必要なことを再確認していただくと幸いです。